

大学番号：010

注3

事前伺い

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

東北大学大学院 教育学研究科 総合教育科学専攻

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人東北大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部法務課

職名・氏名 課長 ^{アベ}阿部 ^{フミヒロ}文洋
法規係長 ^{クドウ}工藤 ^{ジュンペイ}淳平

電話番号 022-217-4809

（夜間） 022-217-4809

F A X 022-217-6014

e-mail hosei@grp.tohoku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学研究科

	ページ
＜総合教育科学専攻＞	
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	26
6. 留意事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	52

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人東北大学

(2) 大学名

東北大学大学院

(3) 大学の位置

〒980-8576

宮城県仙台市青葉区川内27番1号

(〒980-8577

宮城県仙台市青葉区片平2丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オオノ ヒデオ) 大野 英男 (平成30年4月)		
研究科長	(クドウ ヨシフミ) 工藤 与志文 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 総合教育科学専攻 (博士前期課程) 修士(教育学) 修士(教育情報学)	教育学・保育学 関係	2 年	45 人	90 人	基礎となる学部等 教育学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成30年度	平成31年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	45 () [-]	- () []	() []	() []	1.00倍			
志願者数	90 (14) [26]	- () [-]	() []	() []				
受験者数	88 (14) [25]	- () [-]	() []	() []				
合格者数	49 (5) [17]	- () [-]	() []	() []				
B 入学者数	45 (5) [16]	- () [-]	() []	() []				
入学定員超過率 B/A	1.00							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。

- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	45 [16] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	
計	45 [16] (-)		[] ()		

- (注)
- ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	45 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
合 計	45 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{45} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 総合教育科学専攻 (博士後期課程) 博士(教育学) 博士(教育情報学)	教育学・保育学 関係	3年	15人	45人	基礎となる学部等 教育学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	15 (-) [-]								1.80倍	
志願者数	34 (14) [3]	- (-) [-]								
受験者数	34 (14) [3]	- (-) [-]								
合格者数	27 (9) [3]	- (-) [-]								
B 入学者数	27 (9) [3]	- (-) [-]								
入学定員超過率 B/A	1.80									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。

- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	27 [3] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			[] ()	[] ()			
計	27 [3] (-)		[] ()		[] ()		

- (注)
- ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	27人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合計	27人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{27} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学研究科 総合教育科学専攻 博士前期課程>

(1) -① 授業科目表

【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	情報リテラシー	1前	1			3	2		3				
	エデュフェア・マインド	1前	1			2	4						
	生涯教育科学基礎論	1前		2		3	4						
	教育政策科学基礎論	1後		2		1							
	グローバル共生教育論基礎論	1前		2		1							
	教育情報アセスメント基礎論	1前		2		6	4						
	教育心理学基礎論	1後		2		1							
	臨床心理学基礎論	1後		2			1						
	専門基盤科目	Practical English for Educational Sciences	1後		2								兼1
人間形成学概論Ⅰ		1-2前		2		1							
人間形成学概論Ⅱ		1-2前		2		1							
社会教育学概論		1-2前		2			1						
スポーツ文化論概論		1-2前		2		1							
教育政策科学概論		1-2前		2		2	4						
成人教育概論		1-2前		2		1							
学校教育論概論		1-2前		2					1				
多文化教育論概論		1-2前		2		1							
教育アセスメント概論		1-2前		2		1							
教育測定学概論		1-2前		2		1	1						
教育情報学基礎論概論		1-2前		2		2	1						
教育情報学実践論概論		1-2前		2		1	1						
教育情報学応用論概論		1-2前		2		1	1						
教育心理学概論		1-2前		2		1	1						
発達心理学概論		1-2前		2		1							
発達障害学概論		1-2前		2		1							
基礎臨床心理学概論		1-2後		2								兼1	
専門科目		人間形成論特論Ⅰ	1-2後		2		1						
		人間形成論特論Ⅱ	1-2前		2			1					
	人間形成論研究演習Ⅰ	1-2前		2		1							
	人間形成論研究演習Ⅱ	1-2後		2			1						
	人間形成史特論Ⅰ	1-2後		2		1							
	人間形成史特論Ⅱ	1-2前		2			1						
	人間形成史研究演習Ⅰ	1-2前		2		1							
	人間形成史研究演習Ⅱ	1-2後		2			1						
	社会教育学特論	1-2後		2			1						
	社会教育学研究演習Ⅰ	1-2前		2		1							
	社会教育学研究演習Ⅱ	1-2後		2			1						
	スポーツ文化論特論Ⅰ	1-2前		2		1							
	スポーツ文化論特論Ⅱ	1-2前		2			1						
	スポーツ文化論研究演習Ⅰ	1-2前		2		1							
	スポーツ文化論研究演習Ⅱ	1-2後		2			1						
	人間形成学合同演習Ⅰ	1-2前		2		2	2						
	人間形成学合同演習Ⅱ	1-2後		2		2	2						
	生涯学習論合同演習Ⅰ	1-2前		2		1	2						
	生涯学習論合同演習Ⅱ	1-2後		2		1	2						
	人間形成論実習	1-2前		2			1						
	教育社会学特論Ⅰ	1-2前		2		1							
	教育社会学特論Ⅱ	1-2前		2			1						
	教育社会学研究演習Ⅰ	1-2後		2		1							
	教育社会学研究演習Ⅱ	1-2後		2			1						
	教育行政学特論Ⅰ	1-2前		2			1						
	教育行政学特論Ⅱ	1-2前		2			1						
	教育行政学研究演習Ⅰ	1-2後		2		1							
	教育行政学研究演習Ⅱ	1-2後		2			1						
	比較教育学特論Ⅰ	1-2前		2		1							
	比較教育学特論Ⅱ	1-2前		2			1						
比較教育学研究演習Ⅰ	1-2後		2		1						兼1		
比較教育学研究演習Ⅱ	1-2後		2			1							
教育政策科学特論	1-2前		2								兼1		
教育政策科学合同演習Ⅰ	1通		2		2	4							
教育政策科学合同演習Ⅱ	2通		2		2	4							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	情報リテラシー	1前	1			3	2		3				
	エデュフェア・マインド	1前	1			5	6						
	生涯教育科学基礎論	1後		2		1							
	教育政策科学基礎論	1後		2		2	1						
	グローバル共生教育論基礎論	1前		2		1							
	教育情報アセスメント基礎論	1後		2		2	1						
	教育心理学基礎論	1後		2		1							
	臨床心理学基礎論	1後		2			1						
	専門基盤科目	Practical English for Educational Sciences	1前		2								兼1
人間形成学概論Ⅰ		1-2後		2		1							
人間形成学概論Ⅱ(未開講)		1-2前		2		1							
社会教育学概論		1-2前		2			1						
スポーツ文化論概論(未開講)		1-2前		2		1							
教育政策科学概論		1-2前		2		2	4						
成人教育概論		1-2前		2		1							
学校教育論概論		1-2前		2					1				
多文化教育論概論		1-2前		2		1				2			
教育アセスメント概論		1-2後		2		1							
教育測定学概論		1-2前		2		1	1						
教育情報学基礎論概論		1-2前		2		2	1						
教育情報学実践論概論		1-2前		2		1	1						
教育情報学応用論概論		1-2後		2		1	1						
教育心理学概論		1-2前		2		1	1						
発達心理学概論		1-2前		2		1							
発達障害学概論		1-2前		2		1							
臨床心理学概論		1-2後		2								兼1	
専門科目		人間形成論特論Ⅰ(未開講)	1-2後		2		1						
		人間形成論特論Ⅱ	1-2前		2			1					
	人間形成論研究演習Ⅰ	1-2前		2		1							
	人間形成論研究演習Ⅱ	1-2後		2			1						
	人間形成史特論Ⅰ	1-2前		2		1							
	人間形成史特論Ⅱ	1-2後		2			1						
	人間形成史研究演習Ⅰ	1-2後		2		1							
	人間形成史研究演習Ⅱ	1-2前		2			1						
	社会教育学特論(未開講)	1-2前		2			1						
	社会教育学研究演習Ⅰ	1-2後		2		1							
	社会教育学研究演習Ⅱ(未開講)	1-2後		2			1						
	スポーツ文化論特論Ⅰ	1-2後		2		1							
	スポーツ文化論特論Ⅱ	1-2前		2			1						
	スポーツ文化論研究演習Ⅰ	1-2前		2		1							
	スポーツ文化論研究演習Ⅱ	1-2後		2			1						
	人間形成学合同演習Ⅰ	1-2前		2		2	2						
	人間形成学合同演習Ⅱ	1-2後		2		2	2						
	生涯学習論合同演習Ⅰ	1-2前		2		1	2						
	生涯学習論合同演習Ⅱ	1-2後		2		1	2						
	人間形成論実習	1-2通		2			1						
	教育社会学特論Ⅰ	1-2前		2		1							
	教育社会学特論Ⅱ(未開講)	1-2前		2			1						
	教育社会学研究演習Ⅰ(未開講)	1-2後		2		1							
	教育社会学研究演習Ⅱ	1-2後		2			1						
	教育行政学特論Ⅰ	1-2前		2			1						
	教育行政学特論Ⅱ	1-2前		2			1						
	教育行政学研究演習Ⅰ(未開講)	1-2後		2		1							
	教育行政学研究演習Ⅱ	1-2後		2			1						
	比較教育学特論Ⅰ	1-2前		2		1							
	比較教育学特論Ⅱ	1-2前		2			1						
比較教育学研究演習Ⅰ	1-2後		2		1						兼1		
比較教育学研究演習Ⅱ	1-2後		2			1							
教育政策科学特論	1-2前		2								兼1		
教育政策科学合同演習Ⅰ	1通		2		2	4							
教育政策科学合同演習Ⅱ	2通		2		2	4							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	成人教育特論	1-2後	2					1				
	成人教育研究演習Ⅰ	1-2前	2			1						
	成人教育研究演習Ⅱ	1-2後	2					1				
	学校教育論特論	1-2後	2				1					
	学校教育論研究演習Ⅰ	1-2前	2						1			
	学校教育論研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	多文化教育論特論	1-2後	2				1					
	多文化教育論研究演習Ⅰ	1-2前	2			1						
	多文化教育論研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	グローバル共生教育論合同演習Ⅰ	1-2前	2			2	2	1	1			
	グローバル共生教育論合同演習Ⅱ	1-2後	2			2	2	1	1			
	国際教育論Ⅰ	1-2前	2									兼1
	国際教育論Ⅱ	1-2後	2									兼1
	国際教育共同実習	1-2通	2			1	1	1	1			
	教育アセスメント特論Ⅰ	1-2前	2			1						
	教育アセスメント特論Ⅱ	1-2前	2				1					
	教育アセスメント特論Ⅲ	1-2前	2				1					兼1
	教育アセスメント研究演習Ⅰ	1-2後	2			1						
	教育アセスメント研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	教育アセスメント研究演習Ⅲ	1-2後	2				1					
	教育測定学特論Ⅰ	1-2前	2			1						
	教育測定学特論Ⅱ	1-2前	2				1					
	教育測定学研究演習Ⅰ	1-2後	2			1						
	教育測定学研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	教育情報学基礎論特論Ⅰ	1-2前	2			1						
	教育情報学基礎論特論Ⅱ	1-2前	2				1					
	教育情報学基礎論特論Ⅲ	1-2前	2				1					
	教育情報学基礎論研究演習Ⅰ	1-2後	2				1					
	教育情報学基礎論研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	教育情報学基礎論研究演習Ⅲ	1-2後	2				1					
	教育情報学応用論特論Ⅰ	1-2前	2			1						
	教育情報学応用論特論Ⅱ	1-2前	2				1					
	教育情報学応用論特論Ⅲ	1-2前	2				1					
	教育情報学応用論研究演習Ⅰ	1-2後	2			1						
	教育情報学応用論研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	教育情報学応用論研究演習Ⅲ	1-2後	2				1					
	教育情報学実践論特論Ⅰ	1-2前	2			1						
	教育情報学実践論特論Ⅱ	1-2前	2				1					
	教育情報学実践論特論Ⅲ	1-2前	2				1					
	教育情報学実践論研究演習Ⅰ	1-2後	2				1					
	教育情報学実践論研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	教育情報学実践論研究演習Ⅲ	1-2後	2				1					
	オープンエデュケーション論合同演習	1-2通	2			4	3					
	教育心理学特論Ⅰ	1-2前	2			1						
教育心理学特論Ⅱ	1-2前	2				1						
教育心理学研究演習Ⅰ	1-2後	2			1	1						
教育心理学研究演習Ⅱ	1-2前	2			1	1						
学習心理学特論Ⅰ	1-2前	2			1							
学習心理学特論Ⅱ	1-2前	2				1						
学習心理学研究演習Ⅰ	1-2後	2			1							
学習心理学研究演習Ⅱ	1-2前	2				1						
発達心理学特論	1-2後	2				1						
発達心理学研究演習Ⅰ	1-2後	2			1	1						
発達心理学研究演習Ⅱ	1-2後	2			1	1						
発達心理学研究演習Ⅲ	1-2後	2			1	1						
発達心理学研究演習Ⅳ	1-2前	2			1	1						
発達臨床論特論	1-2後	2			1							
発達臨床論研究演習Ⅰ	1-2後	2			1							
発達臨床論研究演習Ⅱ	1-2前	2				1						
発達障害学特論Ⅰ	1-2後	2			1							
発達障害学特論Ⅱ	1-2後	2				1						
発達障害学研究演習Ⅰ	1-2後	2				1						
発達障害学研究演習Ⅱ	1-2後	2				1						
発達障害学研究演習Ⅲ	1-2前	2			1							
発達障害学研究演習Ⅳ	1-2前	2			1							
臨床心理学特論Ⅰ	1-2後	2			1	1						
臨床心理学特論Ⅱ	1-2前	2				1						
臨床心理面接特論Ⅰ	1-2後	2			2	3						
臨床心理面接特論Ⅱ	1-2後	2			2	3						
臨床心理研究法特論Ⅰ	1-2前	2			2	3						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	成人教育特論	1-2後	2			1						
	成人教育研究演習Ⅰ	1-2前	2				1					
	成人教育研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	学校教育論特論	1-2後	2					1				
	学校教育論研究演習Ⅰ	1-2前	2					1				
	学校教育論研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	多文化教育論特論	1-2後	2				1	2				
	多文化教育論研究演習Ⅰ	1-2前	2				1	2				
	多文化教育論研究演習Ⅱ	1-2後	2				1	2				
	グローバル共生教育論合同演習Ⅰ	1-2前	2			2	2	2				
	グローバル共生教育論合同演習Ⅱ	1-2後	2			2	2	2				
	国際教育論Ⅰ	1-2前	2									兼1
	国際教育論Ⅱ	1-2後	2									兼1
	国際教育共同実習	1-2通	2			1						
	教育アセスメント特論Ⅰ	1-2前	2			1						
	教育アセスメント特論Ⅱ(未開講)	1-2前	2					1				
	教育アセスメント特論Ⅲ	1-2前	2				1					兼1
	教育アセスメント研究演習Ⅰ	1-2後	2			1						
	教育アセスメント研究演習Ⅱ(未開講)	1-2後	2				1					
	教育アセスメント研究演習Ⅲ(未開講)	1-2後	2				1					
	教育測定学特論Ⅰ	1-2前	2			1						
	教育測定学特論Ⅱ	1-2前	2				1					
	教育測定学研究演習Ⅰ	1-2後	2			1						
	教育測定学研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	教育情報学基礎論特論Ⅰ	1-2前	2			1						
	教育情報学基礎論特論Ⅱ	1-2前	2				1					
	教育情報学基礎論特論Ⅲ	1-2前	2				1					
	教育情報学基礎論研究演習Ⅰ	1-2後	2				1					
	教育情報学基礎論研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	教育情報学基礎論研究演習Ⅲ	1-2後	2				1					
	教育情報学応用論特論Ⅰ	1-2前	2			1						
	教育情報学応用論特論Ⅱ(未開講)	1-2前	2				1					
	教育情報学応用論特論Ⅲ	1-2前	2				1					
	教育情報学応用論研究演習Ⅰ	1-2後	2			1						
	教育情報学応用論研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	教育情報学応用論研究演習Ⅲ	1-2後	2				1					
	教育情報学実践論特論Ⅰ	1-2前	2			1						
	教育情報学実践論特論Ⅱ	1-2後	2				1					
	教育情報学実践論特論Ⅲ	1-2前	2				1					兼1
	教育情報学実践論研究演習Ⅰ	1-2後	2				1					
	教育情報学実践論研究演習Ⅱ	1-2後	2				1					
	教育情報学実践論研究演習Ⅲ(未開講)	1-2後	2				1					兼1
	オープンエデュケーション論合同演習	1-2通	2			3	2			3		
	教育心理学特論Ⅰ	1-2前	2			1						
教育心理学特論Ⅱ	1-2前	2				1						
教育心理学研究演習Ⅰ	1-2前	2			1	1						
教育心理学研究演習Ⅱ	1-2前	2			1	1						
学習心理学特論Ⅰ	1-2後	2			1							
学習心理学特論Ⅱ(未開講)	1-2後	2				1						
学習心理学研究演習Ⅰ(未開講)	1-2後	2				1						
学習心理学研究演習Ⅱ	1-2後	2				1						
発達心理学特論	1-2前	2				1						
発達心理学研究演習Ⅰ(未開講)	1-2前	2			1	1						
発達心理学研究演習Ⅱ(未開講)	1-2後	2			1	1						
発達心理学研究演習Ⅲ	1-2前	2			1	1						
発達心理学研究演習Ⅳ	1-2後	2			1	1						
発達臨床論特論	1-2前	2			1							
発達臨床論研究演習Ⅰ	1-2後	2			1							
発達臨床論研究演習Ⅱ	1-2後	2				1						
発達障害学特論Ⅰ(福祉分野に関する理論と実務の展開)	1-2前	2			1					1		
発達障害学特論Ⅱ	1-2後	2				1						
発達障害学研究演習Ⅰ	1-2前	2				1						
発達障害学研究演習Ⅱ	1-2前	2				1						
発達障害学研究演習Ⅲ	1-2後	2			1							
発達障害学研究演習Ⅳ	1-2後	2			1							
臨床心理学特論Ⅰ	1-2前	2			1	1						
臨床心理学特論Ⅱ	1-2後	2				1						
臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	1-2前	2			2	3				2		
臨床心理面接特論Ⅱ	1-2後	2			2	3				2		
臨床心理研究法特論Ⅰ	1-2前	2			2	3				2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	臨床心理研究法特論Ⅱ	1・2前	2			2	3					兼1
	投影法特論Ⅰ	1・2前	2									兼1
	投影法特論Ⅱ	1・2後	2									兼1
	家族心理学特論	1・2後	2				1					
	精神医学特論	1・2後	2			1						
	学校臨床心理学特論	1・2前	2									兼1
	コミュニティ心理学特論	1・2前	2									兼1
	コミュニティ心理学実践特論	1・2後	2									兼1
	臨床心理関連行政論	1・2後	2			1						
	臨床心理査定演習Ⅰ	1・2前	2				1					
	臨床心理査定演習Ⅱ	1・2後	2			1						
	心理療法特論Ⅰ	1・2前	2									兼1
	心理療法特論Ⅱ	1・2後	2									兼1
	臨床心理基礎実習	1・2通	2			1	1					
	臨床心理実習	1・2通	2			1	2					
	保健医療分野に関する理論と支援の展開	1・2通	2			1						
	福祉分野に関する理論と支援の展開	1・2通	2			1	1					
	教育分野に関する理論と支援の展開	1・2通	2			1	1					
	司法分野に関する理論と支援の展開	1・2通	2									兼1
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1・2通	2									兼1
心的アセスメントに関する理論と実践	1・2通	2			1	1					兼1	
心理支援に関する理論と実践	1・2通	2									兼1	
家族関係・集団・地域社会における心理療法等に関する理論と実践	1・2通	2				1						
心の健康教育に関する理論と実践	1・2通	2				1						
心理実践演習Ⅰ	1・2通	4			2	3						
心理実践演習Ⅱ	1・2通	4			2	3						
課題研究	1通	8			19	22						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	臨床心理研究法特論Ⅱ	1・2前	2			2	3					兼1
	投影法特論Ⅰ	1・2前	2									兼1
	投影法特論Ⅱ	1・2後	2									兼1
	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2後	2				1					
	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1・2後	2			1				1		兼1
	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	1・2後	2									兼1
	コミュニティ心理学特論	1・2前	2									兼1
	(廃止)											
	(廃止)											
	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	1・2前	2				1					
	臨床心理査定演習Ⅱ	1・2後	2				1					
	心理療法特論	1・2前	2									兼1
	(廃止)											
	臨床心理基礎実習	1通	2			1	1					
	臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅰ)	1前	2				2				1	
	(廃止)	1・2通	2			1						
	(廃止)	1・2通	2				1					
	(廃止)	1・2通	2				1	1				
	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1・2前	2									兼1
	産業心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	1・2後	2									兼1
(廃止)	1・2通	2				1	1				兼1	
(廃止)	1・2通	2									兼1	
(廃止)	1・2通	2					1					
心の健康教育に関する理論と実践	1・2後	2									兼1	
臨床心理実習Ⅱ	1・2後	2			2	3			1			
臨床心理実習Ⅲ(心理実践実習Ⅱ)	2通	2					3		1			
課題研究	1通	8					18	23				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の充実のため、「エデュフェア・マインド」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4」から「教授5、准教授6」に変更。
- ・開講形式変更及び教育効果向上のため、「生涯教育科学基礎論」の専任教員等の配置を「教授3、准教授4」から「准教授1」に、開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・開講形式変更及び教育効果向上のため、「教育情報アセスメント基礎論」の専任教員等の配置を「教授6、准教授4」から「教授1」に、開講時期を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「Practical English for Educational Sciences」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育効果向上のため、「人間形成学概論Ⅰ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・助教1名辞退のため、「学校教育論概論」の専任教員等の配置を、「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「多文化教育論概論」の専任教員等の配置に「准教授2」を追加。
- ・教育効果向上のため、「教育アセスメント概論」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「教育情報学応用論概論」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「発達障害学概論」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加。
- ・授業科目名の適正化のため、「基礎臨床心理学概論」の授業科目名を「臨床心理学概論」に変更。
- ・教育効果向上のため、「人間形成史特論Ⅰ」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・教育効果向上のため、「人間形成史特論Ⅱ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「人間形成史研究演習Ⅰ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「人間形成史研究演習Ⅱ」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・教育効果向上のため、「社会教育学特論」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・教育効果向上のため、「社会教育学研究演習Ⅰ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「スポーツ文化論特論Ⅰ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「人間形成論実習」の開講時期を「1・2前」から「1・2通」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「比較教育学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」へ変更。
- ・講師1名辞退のため、「成人教育特論」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」へ変更。
- ・講師1名辞退のため、「成人教育研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」へ変更。
- ・助教1名辞退のため、「学校教育論研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」へ変更。
- ・教育内容の充実のため、「多文化教育論特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授2」へ変更。
- ・教育内容の充実のため、「多文化教育論研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置に「准教授2」を追加。
- ・教育内容の充実のため、「多文化教育論研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授2」へ変更。
- ・講師1名及び助教1名辞退のため、「グローバル共生教育論合同演習Ⅰ」の専任教員等の配置に「講師1、助教1」を削除。
- ・講師1名及び助教1名辞退のため、「グローバル共生教育論合同演習Ⅱ」の専任教員等の配置に「講師1、助教1」を削除。
- ・講師1名及び助教1名辞退並びに担当教員見直しのため、「国際教育共同実習」の専任教員等の配置に「准教授1、講師1、助教1」を削除。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「教育アセスメント特論Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「教育アセスメント研究演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果向上のため、「教育情報学実践論特論Ⅱ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「教育情報学実践論特論Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」へ変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「教育情報学実践論研究演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」へ変更。
- ・教育内容の充実のため、「オープンエデュケーション論合同演習」の専任教員等の配置を「教授4、准教授3」から「教授3、准教授2、助教3」へ変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「教育心理学研究演習Ⅰ」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「教育心理学研究演習Ⅱ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「学習心理学特論Ⅰ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「学習心理学特論Ⅱ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「学習心理学研究演習Ⅱ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「発達心理学特論」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「発達心理学研究演習Ⅰ」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「発達心理学研究演習Ⅱ」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「発達心理学研究演習Ⅲ」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「発達心理学研究演習Ⅳ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教育効果向上のため、「発達臨床論特論」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・教育効果向上のため、「発達臨床論研究演習Ⅱ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、授業科目名を「発達障害学特論Ⅰ」から「発達障害学特論Ⅰ（福祉分野に関する理論と支援の展開）」に、開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。また、助教1名採用のため、専任教員等の配置に「助教1」を追加。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「発達障害学研究演習Ⅰ」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「発達障害学研究演習Ⅱ」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「発達臨床論研究演習Ⅲ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「発達臨床論研究演習Ⅳ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、「臨床心理学特論Ⅰ」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、「臨床心理学特論Ⅱ」の開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、授業科目名を「臨床心理面接特論Ⅰ」から「臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）」に、開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。また、助教2名採用のため、専任教員等の配置に「助教2」を追加。
- ・助教2名採用のため、「臨床心理面接特論Ⅱ」の専任教員等の配置に「助教2」を追加。
- ・助教2名採用のため、「臨床心理研究法特論Ⅰ」の専任教員等の配置に「助教2」を追加。
- ・助教2名採用のため、「臨床心理研究法特論Ⅱ」の専任教員等の配置に「助教2」を追加。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、授業科目名を「家族心理学特論」から「家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）」に変更。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、授業科目名を「精神医学特論」から「精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）」に変更。また、助教1名採用及び教育内容の充実のため、同科目の専任教員等の配置に「助教1、兼1」を追加。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、授業科目名を「学校臨床心理学特論」から「学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）」に、開講時期を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、授業科目名を「臨床心理査定演習Ⅰ」から「臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）」に変更。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、授業科目名を「心理療法特論Ⅰ」から「心理療法特論」に変更。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、「臨床心理基礎実習」の開講時期を「1・2通」から「1通」に変更。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、授業科目名を「臨床心理実習」から「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅰ）」に、開講時期を「1・2通」から「1前」に変更。また、助教1名採用及び担当教員見直しのため、専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、助教1」に変更。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、授業科目名を「司法分野に関する理論と支援の展開」から「犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）」に、開講時期を「1・2通」から「1・2前」に変更。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、授業科目名を「産業・労働分野に関する理論と支援の展開」から「産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）」に、開講時期を「1・2通」から「1・2後」に変更。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、「心の健康教育に関する理論と実践」の開講時期を「1・2通」から「1・2後」に、担当教員見直しのため、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。

・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、授業科目名を「心理実践演習Ⅰ」から「臨床心理実習Ⅱ」に、開講時期を「1・2通」から「1・2後」に、単位数を「4単位」から「2単位」に変更。さらに、助教1名採用及び担当教員見直しのため、専任教員等の配置を「准教授3」から「助教1」に変更。

・公認心理師関係の授業科目について省令に対応しカリキュラムを見直したため、授業科目名を「心理実践演習Ⅱ」から「臨床心理実習Ⅲ（心理実践実習Ⅱ）」に、開講時期を「1・2通」から「2通」に、単位数を「4単位」から「2単位」に変更。また、助教1名採用及び担当教員見直しのため、専任教員等の配置を「教授2」から「助教1」に変更。

・事前伺い時の記載誤りにより、「課題研究」の専任教員等の配置を「教授19、准教授22」から「教授18、准教授23」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	155 科目	0 科目	158 科目	3 科目 [0]	146 科目 [Δ9]	0 科目 [0]	149 科目 [Δ9]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	人間形成学概論Ⅱ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
2	スポーツ文化論概論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
3	人間形成論特論Ⅰ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
4	社会教育学特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
5	社会教育学研究演習Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
6	教育社会学特論Ⅱ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
7	教育社会学研究演習Ⅰ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
8	教育行政学研究演習Ⅰ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
9	教育アセスメント特論Ⅱ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
10	教育アセスメント研究演習Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
11	教育アセスメント研究演習Ⅲ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
12	教育情報学応用論特論Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
13	教育情報学実践論研究演習Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
14	学習心理学特論Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
15	学習心理学研究演習Ⅰ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
16	発達心理学研究演習Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
17	発達心理学研究演習Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）
18	発達臨床論特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（平成30年度非開講）

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	コミュニティ心理学実践特論	2	1・2後	専門	選択	臨床心理士の対応カリキュラム編成上、廃止となった。
2	臨床心理関連行政論	2	1・2後	専門	選択	公認心理士の対応カリキュラム編成上、廃止となった。
3	心理療法特論Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	公認心理士の対応カリキュラム編成上、廃止となった。
4	保健医療分野に関する理論と支援の展開	2	1・2通	専門	選択	公認心理士の対応カリキュラム編成上、廃止となった。
5	福祉分野に関する理論と支援の展開	2	1・2通	専門	選択	公認心理士の対応カリキュラム編成上、廃止となった。
6	教育分野に関する理論と支援の展開	2	1・2通	専門	選択	公認心理士の対応カリキュラム編成上、廃止となった。
7	心理的アセスメントに関する理論と実践	2	1・2通	専門	選択	公認心理士の対応カリキュラム編成上、廃止となった。
8	心理支援に関する理論と実践	2	1・2通	専門	選択	公認心理士の対応カリキュラム編成上、廃止となった。
9	家族関係・集団・地域社会における心理療法等に関する理論と実践	2	1・2通	専門	選択	公認心理士の対応カリキュラム編成上、廃止となった。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 未開講科目は、隔年開講の科目であるため今年度は開講しないものである（事前伺い時記載漏れ）。学生には在学期間中の履修機会を確保しているため、教育上の支障はない。 コミュニティ心理学実践特論以外の廃止科目は、公認心理師に係る省令の公布前に、公認心理師に係るカリキュラムへの対応を想定して開講予定としていたものであるが、省令公布後、省令に対応してカリキュラムを見直したことにより、廃止とすることとした。コミュニティ心理学実践特論は、臨床心理士資格取得に係るものであるが、臨床心理士に係るカリキュラムを見直したことにより、廃止としたものである。これらの変更は、いずれも受験資格取得及び資格取得には影響せず、教育上の支障はない。</p> <p>「学生への周知方法」 以上の変更については、学生便覧及び入学オリエンテーションにおいて周知を図っている。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{27}{132} = \boxed{20.45} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<教育学研究科 総合教育科学専攻 博士後期課程>

(1) ① 授業科目表

【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	情報リテラシー	1前		1		3	2		3			
	エデュフェア・マインド	1前		1		2	4					
	国際教育論 I	1・2前		2							兼1	
	国際教育論 II	1・2後		2							兼1	
	海外研究活動 I	1・2前		1		19	22					
	海外研究活動 II	1・2後		1		19	22					
	院生プロジェクト研究	1・2・3期		1		1			2			
	生涯教育科学特別研究 I	1通		2		3	4					
	生涯教育科学特別研究 II	2通		2		3	4					
	教育政策科学特別研究 I	1通		2		2	4					
	教育政策科学特別研究 II	2通		2		2	4					
	グローバル共生教育論特別研究 I	1通		2		2	2	1	1			
	グローバル共生教育論特別研究 II	2通		2		2	2	1	1			
	教育情報アセスメント特別研究 I	1通		2		6	4					
	教育情報アセスメント特別研究 II	2通		2		6	4					
	教育心理学特別研究 I	1通		2		3	3					
	教育心理学特別研究 II	2通		2		3	3					
	臨床心理学特別研究 I	1通		2		2	3					
	臨床心理学特別研究 II	2通		2		2	3					
	特定研究論文 I	1通	2			19	22					
特定研究論文 II	2通	2			19	22						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	情報リテラシー	1前		1		3	2		3			
	エデュフェア・マインド	1前		1		5	6					
	国際教育論 I	1・2前		2							兼1	
	国際教育論 II	1・2後		2							兼1	
	海外研究活動 I	1・2前		1		17	23				兼1	
	海外研究活動 II	1・2後		1		17	23				兼1	
	院生プロジェクト研究	1・2・3期		1		1			2			
	生涯教育科学特別研究 I	1通		2		3	4					
	生涯教育科学特別研究 II	2通		2		3	4					
	教育政策科学特別研究 I	1通		2		1	4				兼1	
	教育政策科学特別研究 II	2通		2		1	4				兼1	
	グローバル共生教育論特別研究 I	1通		2		2	3					
	グローバル共生教育論特別研究 II	2通		2		2	3					
	教育情報アセスメント特別研究 I	1通		2		6	6					
	教育情報アセスメント特別研究 II	2通		2		6	6					
	教育心理学特別研究 I	1通		2		3	3					
	教育心理学特別研究 II	2通		2		3	3					
	臨床心理学特別研究 I	1通		2		2	3					
	臨床心理学特別研究 II	2通		2		2	3					
	特定研究論文 I	1通	2			17	23					兼1
特定研究論文 II	2通	2			17	23					兼1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の充実のため、「エデュフェア・マインド」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4」から「教授5、准教授6」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「海外研究活動Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授22」から「教授17、准教授23、兼1」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「海外研究活動Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授22」から「教授17、准教授23、兼1」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「教育政策科学特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、兼1」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「教育政策科学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、兼1」に変更。
- ・講師1名及び助教1名辞退並びに教育内容の充実のため、「グローバル共生教育論特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2、講師1、助教1」から「准教授3」に変更。
- ・講師1名及び助教1名辞退並びに教育内容の充実のため、「グローバル共生教育論特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2、講師1、助教1」から「准教授3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「教育情報アセスメント特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授6」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「教育情報アセスメント特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授6」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「特定研究論文Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授22」から「教授17、准教授23、兼1」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「特定研究論文Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授22」から「教授17、准教授23、兼1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2	19	0	21	2	19	0	21	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{21} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
	校舎敷地	22,010,146㎡	0㎡	0㎡	22,010,146㎡		
	運動場用地	132,573㎡	0㎡	0㎡	132,573㎡		
	小 計	22,142,719㎡	0㎡	0㎡	22,142,719㎡		
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡		
	合 計	22,142,719㎡	0㎡	0㎡	22,142,719㎡		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
		1,152,992㎡ (1,152,992㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	1,152,992㎡ (1,152,992㎡)		
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
		5室	8室	8室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		
		教育学研究科総合教育学専攻			38 室		
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械・器 具	標 本
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル			
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点
	教育学研究科総合教育学専攻	4,157,134 [1,974,650] (4,157,134 [1,974,650])	85,161 [42,204] (85,161 [42,204])	13,522 [13,507] (13,522 [13,507])	7,232 (7,232)	38,733 (38,733)	2,432,337 (2,432,337)
計	4,157,134 [1,974,650] (4,157,134 [1,974,650])	85,161 [42,204] (85,161 [42,204])	13,522 [13,507] (13,522 [13,507])	7,232 (7,232)	38,733 (38,733)	2,432,337 (2,432,377)	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		
		45,481㎡		2,874席	4,563,766冊		
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			
		7,024㎡		武道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を, 申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお, 昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延)がある場合には, 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称		東 北 大 学							備 考	
既設学部等の名称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
		年	人	年次 人	人		倍			
文学部	人文社会学科	4	210	—	840	学士 (文学)	1.05	平9年度 改組	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	大11年学部設置 法文学部から分 立(昭24年度)
教育学部	教育科学科	4	70	—	280	学士 (教育学)	1.05	平10年 度改組	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	昭24年度学部設 置
法学部	法学科	4	160	—	640	学士 (法学)	1.07	昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	
経済学部	経済学科	4	130	3年次 10	540	学士 (経済学)	1.03	昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区川内27番1号	大11年学部設置 法文学部から分 立(昭24年度)
	経営学科	4	130	3年次 10	540			昭43年 度		
	計		260	20	1,080			1.03		
理学部	数学科	4	45	—	180	学士 (理学)	1.01	昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	大8年理科大学 から理学部とな る
	物理学科	4	78	—	312		1.01	平6年度 改組・統 合		
	宇宙地球物理学科	4	41	—	164			平4年度 改組		
	化学科	4	70	—	280		1.10	平7年度 改組・統 合		
	地圏環境科学科	4	30	—	120		0.99	平4年度 改組		
	地球惑星物質科学科	4	20	—	80			平4年度 改組(平 20年度 改称)		
	生物学科	4	40	—	160		0.99	昭24年 度		
計		324		1,296	1.02					
医学部	医学科	6	135	—	810	学士 (医学)	1.00	昭24年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号	大8年医科大学 から改称
	保健学科	4	144	—	576	学士 (看護学) 学士 (保健学)	1.01	平16年 度改組		平16年医療技術 短期大学部から 医学部保健学科 となる 平26年度より3 年次編入学廃止
	計		279	0	1,386	1.00				

大学の名称		東北大学							備考	
既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
歯学部	歯学科	6	53	—	318	学士(歯学)	1.00	昭40年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	
	創薬科学科	4	60	—	240	学士(創薬科学)	1.07	平18年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	昭47年度学部設置
	薬学科	6	20	—	120	学士(薬学)	1.06			
計		80	—	360		1.06				
工学部	機械知能・航空工学科	4	234	—	936	学士(工学)	1.08	平16年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号	大8年学部設置
	電気情報物理工学科	4	243	—	972		1.02	平16年度改組(平19年度・平27年度改称)		
	化学・バイオ工学科	4	113	—	452		1.00	平16年度改組		
	材料科学総合学科	4	113	—	452		1.03			
	建築・社会環境工学科	4	107	—	428		1.03			
	計		810	—	3,240			1.04		
農学部	生物生産科学科	4	90	—	360	学士(農学)	1.05	平4年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1	昭22年度学部設置
	応用生物化学科	4	60	—	240					
	計		150	—	600					
※ 複数の学科を有する学部の学生募集は、経済学部、薬学部及び農学部にあつては学部一括で、理学部にあつては1又は複数の学科毎にそれぞれ行い、学生の所属学科は、第1年次修了時、第2年次又は第3年次に決定する。										
文学研究科	文化科学専攻	5	32	—	64	修士(文学) 修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	0.73	平11年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	学生数は、上段が前期課程で、下段が後期課程である。
			16	—	48		0.64			
	言語科学専攻	5	14	—	28		1.13			
			7	—	21		0.85			
	歴史科学専攻	5	21	—	42		1.02	平12年度改組		
		11	—	33	0.69					
人間科学専攻	5	22	—	44	1.01					
		11	—	33	0.84					

大学の名称		東北大学							備考
既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
教育学研究科	総合教育科学専攻	5	45	—	81	修士(教育学) 修士(教育情報学) 博士(教育学) 博士(教育情報学)	0.90	平30年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号
			15	—	47		0.97		
	教育設計評価専攻	5	—	—	—	修士(教育学) 修士(学術) 博士(教育学) 博士(学術)	—	平20年度改組	平成30年度より学生募集停止
			—	—	—		—		
法学研究科	法政理論研究専攻	5	10	—	20	修士(法学) 修士(学術) 博士(法学) 博士(学術)	1.10	平12年度改組 (平18年度改称)	宮城県仙台市青葉区川内27番1号
			12	—	52		0.55		
	総合法制専攻 (法科大学院の課程)	3	50	—	150	法務博士(専門職)	0.70	平16年度改組	宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号
公共法政策専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	公共法政策 修士(専門職)	0.81			
経済学研究科	経済経営学専攻	5	50	—	100	修士(経済学) 修士(経営学) 修士(学術) 博士(経済学) 博士(経営学) 博士(学術)	0.73	平17年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号
			20	—	60		0.48		
	会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	—	80	会計修士(専門職)	0.67	平17年度	
理学研究科	数学専攻	5	38	—	76	修士(理学) 修士(学術) 博士(理学) 博士(学術)	1.01	平7年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号
			18	—	54		0.61		
	物理学専攻	5	91	—	182		0.95	平6年度改組	
			46	—	138		0.58		
	天文学専攻	5	9	—	18		1.22		
			4	—	12		0.83		
	地球物理学専攻	5	26	—	52		1.13		
			13	—	39		0.56		
化学専攻	5	66	—	132	1.05	平7年度改組			
		33	—	99	0.48				
地学専攻	5	32	—	64	1.35	平6年度改組			
		16	—	48	0.66				

大学の名称		東北大学							備考
既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
医学系研究科	医科学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (医科学) 修士 (学術)	0.96	平15年度改組	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号
	医科学専攻 (博士課程)	4	130	—	520	博士 (医学) 博士 (学術)	1.12	平9年度改組	
	障害科学専攻	5	20	—	48	修士 (障害科学) 修士 (学術)	0.62	平6年度改組	
			9	—	31	博士 (障害科学) 博士 (学術)	1.10	平8年度改組	
	保健学専攻	5	32	—	56	修士 (看護学) 修士 (保健学) 修士 (学術)	1.37	平20年度改組	
			12	—	32	博士 (看護学) 博士 (保健学) 博士 (学術)	1.28	平22年度改組	
公衆衛生学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (公衆衛生学)	1.35	平27年度		
歯学研究科	歯科学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (口腔科学) 修士 (学術)	0.91	平16年度	宮城県仙台市青葉区星陵町4番1号
	歯科学専攻 (博士課程)	4	42	—	168	博士 (歯学) 博士 (学術)	1.00	平12年度改組	
薬学研究科	分子薬科学専攻	5	22	—	44	修士 (薬科学) 修士 (学術) 博士 (薬科学) 博士 (学術)	1.42	平22年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号
			8	—	24		0.95		
	生命薬科学専攻	5	32	—	64		0.82		
			10	—	30		1.00		
医療薬学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士 (薬学) 博士 (学術)	0.75	平24年度		
工学研究科	機械機能創成専攻	5	42	—	84		1.43	平7年度改組(平16年度改称・平28年度改称)	
			10	—	30		1.40		
	ファインメカニクス専攻	5	45	—	90		1.09		
11			—	33	0.45				

大学の名称		東北大学							備考
既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
工 学 研 究 科	ロボティクス専攻	5	42	—	84	修士 (工学) 修士 (学術) 博士 (工学) 博士 (学術)	0.79	平15年度(平28年度改称)	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号
			11	—	33		0.54		
	航空宇宙工学専攻	5	42	—	84		1.49	平7年度改組	
			11	—	33		1.14		
	量子エネルギー工学専攻	5	38	—	76		1.06	昭33年度(平8年度改称)	
			11	—	33		0.66		
	電気エネルギーシステム専攻	5	32	—	64		1.03	平24年度	
			8	—	24		0.54		
	通信工学専攻	5	31	—	62		1.44		
			8	—	24		0.70		
	電子工学専攻	5	51	—	102		0.88	昭28年度	
			15	—	45		0.32		
	応用物理学専攻	5	32	—	64		1.13	昭28年度	
			11	—	33		0.66		
	応用化学専攻	5	26	—	52		1.24	昭40年度	
			8	—	24		0.95		
化学工学専攻	5	34	—	68	0.98	平4年度(平16年度改称)			
		7	—	21	0.52				
バイオ工学専攻	5	19	—	38	1.23	昭28年度(平16年度改称)			
		5	—	15	0.53				
金属フロンティア工学専攻	5	26	—	52	1.21	昭39年度(昭62年度・平16年度改称)			
		7	—	21	0.94				
知能デバイス材料学専攻	5	37	—	74	1.19	昭44年度(平9年度・平16年度改称)			
		10	—	30	1.20				
材料システム工学専攻	5	30	—	60	1.20	昭38年度			
		8	—	24	1.16				
土木工学専攻	5	43	—	86	1.14	昭38年度			
		12	—	36	1.49				
都市・建築学専攻	5	45	—	90	1.32	昭38年度(平8年度改称)			
		8	—	24	1.04				
技術社会システム専攻	5	21	—	42	0.99	平14年度			
		13	—	39	0.40				

大学の名称		東北大学					備考			
既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
農学研究科	資源生物科学専攻	5	36	—	72	修士 (農学) 修士 (学術) 博士 (農学) 博士 (学術)	1.12	平15年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1	
			13	—	39		0.63			
	応用生命科学専攻	5	35	—	70		1.09			
			13	—	39		0.68			
生物産業創成科学 専攻	5	38	—	76	1.30					
		11	—	33	0.90					
国際文化研究科	国際文化研究専攻	5	35	—	70	修士 (国際文化) 修士 (学術) 博士 (国際文化) 博士 (学術)	0.89	平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区川内41	
			16	—	32		0.58			
情報科学研究科	情報基礎科学専攻	5	38	—	76	修士 (情報科学) 修士 (学術) 博士 (情報科学) 博士 (学術)	0.85	平5年 度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号	
			11	—	33		0.54			
	システム情報科学 専攻	5	37	—	74		1.64			
			11	—	33		0.90			
人間社会情報科学 専攻	5	30	—	60	0.76					
		10	—	30	0.80					
応用情報科学専攻	5	35	—	70	1.25	平15年 度				
		10	—	30	1.00					
生命科学研究科	脳生命統御科学専攻	5	36	—	36	修士 (生命科学) 修士 (学術) 博士 (生命科学) 博士 (学術)	0.88	平30年 度改組	宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号	
			10	—	10		0.20			
	生態発生適応科学 専攻	5	35	—	35		0.62			
			10	—	10		0.50			
	分子化学生物学専攻	5	35	—	35		1.11			
			10	—	10		0.60			
分子生命科学専攻	5	—	—	—	—	平13年 度	宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号	平成30年度より 学生募集停止		
生命機能科学専攻	5	—	—	—	—					
生態システム生命 科学専攻	5	—	—	—	—				平成30年度より 学生募集停止	

大学の名称		東北大学							備考
既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
環境科学研究科	先進社会環境学専攻	5	40	—	80	修士 (環境科学) 修士 (学術) 博士 (環境科学) 博士 (学術)	1.17	平27年 度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
			13	—	26		1.38		
	先端環境創成学専攻	5	60	—	120		0.93		
			20	—	40		0.36		
医工学研究科	医工学専攻	5	39	—	70	修士 (医工学) 修士 (学術) 博士 (医工学) 博士 (学術)	1.27	平20年 度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号
			12	—	32		0.82		
教育情報学教育部	教育情報学専攻	5	—	—	—	修士 (教育情報学) 修士 (学術) 博士 (教育情報学) 博士 (学術)	—	平14年 度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号
			—	—	—		—		

平成30年度より
学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学研究科 総合教育科学専攻 博士前期課程>

(1) -① 担当教員表

【事前伺い時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	高橋 満 (62) <平成30年4月> エデュフェア・マイ インド グローバル共生教育 論基礎論 成人教育概論 成人教育研究演習Ⅰ グローバル共生教育 論合同演習Ⅰ グローバル共生教育 論合同演習Ⅱ 国際教育共同実習 課題研究	専	教授	高橋 満 (63) <平成30年4月> エデュフェア・マイ インド グローバル共生教育 論基礎論 成人教育概論 成人教育特論 成人教育研究演習Ⅰ 成人教育研究演習Ⅱ グローバル共生教育 論合同演習Ⅰ グローバル共生教育 論合同演習Ⅱ 国際教育共同実習 課題研究
専	教授	笹田 博通 (62) <平成30年4月> 生涯教育科学基礎論 人間形成学概論Ⅰ 人間形成論特論Ⅰ 人間形成論研究演習 Ⅰ 人間形成学合同演習 Ⅰ 人間形成学合同演習 Ⅱ 課題研究	専	教授	笹田 博通 (63) <平成30年4月> エデュフェア・マイ インド 人間形成学概論Ⅰ 人間形成論特論Ⅰ 人間形成論研究演習 Ⅰ 人間形成学合同演習 Ⅰ 人間形成学合同演習 Ⅱ 課題研究
専	教授	八織 友広 (56) <平成30年4月> 生涯教育科学基礎論 人間形成学概論Ⅱ 人間形成史特論Ⅰ 人間形成史研究演習 Ⅰ 人間形成学合同演習 Ⅰ 人間形成学合同演習 Ⅱ 課題研究	専	教授	八織 友広 (57) <平成30年4月> エデュフェア・マイ インド 人間形成学概論Ⅱ 人間形成史特論Ⅰ 人間形成史研究演習 Ⅰ 人間形成学合同演習 Ⅰ 人間形成学合同演習 Ⅱ 課題研究
専	教授	甲斐 健人 (52) <平成30年4月> 生涯教育科学基礎論 スポーツ文化論概論 スポーツ文化論特論 Ⅰ スポーツ文化論研究 演習Ⅰ 生涯学習論合同演習 Ⅰ 生涯学習論合同演習 Ⅱ 課題研究	専	教授	甲斐 健人 (53) <平成30年4月> エデュフェア・マイ インド スポーツ文化論概論 スポーツ文化論特論 Ⅰ スポーツ文化論研究 演習Ⅰ 生涯学習論合同演習 Ⅰ 生涯学習論合同演習 Ⅱ 課題研究
専	教授	宮腰 英一 (63) <平成30年4月> 教育政策科学概論 比較教育学特論Ⅰ 比較教育学研究演習 Ⅰ 教育政策科学合同演 習Ⅰ 教育政策科学合同演 習Ⅱ 課題研究	専	教授	宮腰 英一 (64) <平成30年4月> 教育政策科学概論 比較教育学特論Ⅰ 教育政策科学合同演 習Ⅰ 教育政策科学合同演 習Ⅱ 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	福田 亘孝 (53) <平成30年4月> 教育政策科学基礎論 教育政策科学概論 教育社会学特論 I 教育社会学研究演習 I 教育政策科学合同演習 I 教育政策科学合同演習 II 課題研究	専	教授	福田 亘孝 (54) <平成30年4月> 教育政策科学基礎論 教育政策科学概論 教育社会学特論 I 教育社会学研究演習 I 教育政策科学合同演習 I 教育政策科学合同演習 II 課題研究
専	教授	本郷 一夫 (62) <平成30年4月> 発達心理学概論 発達心理学研究演習 I 発達心理学研究演習 II 発達心理学研究演習 III 発達心理学研究演習 IV 発達臨床論特論 発達臨床論研究演習 I 課題研究	専	教授	本郷 一夫 (63) <平成30年4月> 発達心理学概論 発達心理学研究演習 I 発達心理学研究演習 II 発達心理学研究演習 III 発達心理学研究演習 IV 発達臨床論特論 発達臨床論研究演習 I 課題研究
専	教授	工藤 与志文 (54) <平成30年4月> 教育心理学基礎論 教育心理学概論 教育心理学特論 I 教育心理学研究演習 I 教育心理学研究演習 II 学習心理学特論 I 学習心理学研究演習 I 課題研究	専	教授	工藤 与志文 (55) <平成30年4月> 教育心理学基礎論 教育心理学概論 教育心理学特論 I 教育心理学研究演習 I 教育心理学研究演習 II 学習心理学特論 I 学習心理学研究演習 I 課題研究
専	教授	野口 和人 (55) <平成30年4月> 発達障害学概論 発達障害学特論 I 発達障害学研究演習 I 発達障害学研究演習 II 発達障害学研究演習 III 教育分野に関する理論と支援の展開 課題研究	専	教授	野口 和人 (56) <平成30年4月> 発達障害学概論 発達障害学特論 I (福祉分野に関する理論と支援の展開) 発達障害学研究演習 I 発達障害学研究演習 II 発達障害学研究演習 III 課題研究
専	教授	上埜 高志 (62) <平成30年4月> 臨床心理面接特論 I 臨床心理面接特論 II 臨床心理研究法特論 I 臨床心理研究法特論 II 精神医学特論 臨床心理関連行政論 臨床心理実習 保健医療分野に関する理論と支援の展開 心理実践演習 I 心理実践演習 II 課題研究	専	教授	上埜 高志 (63) <平成30年4月> 臨床心理面接特論 I (心理支援に関する理論と実践) 臨床心理面接特論 II 臨床心理研究法特論 I 臨床心理研究法特論 II 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開) 臨床心理実習 I (心理実践実習 I) 臨床心理実習 II 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	加藤 道代 (61) <平成30年4月>	専	教授	加藤 道代 (62) <平成30年4月>
		臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理研究法特論Ⅰ 臨床心理研究法特論Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習 心理的アセスメントに関する理論と実践 心理実践演習Ⅰ 心理実践演習Ⅱ 課題研究			臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践) 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理研究法特論Ⅰ 臨床心理研究法特論Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅰ) 臨床心理実習Ⅱ 課題研究
専	教授	渡部 信一 (59) <平成30年4月>	専	教授	渡部 信一 (60) <平成30年4月>
		情報リテラシー 教育情報アセスメント基礎論 教育情報学基礎論概論 教育情報学基礎論特論Ⅰ 教育情報学基礎論研究演習Ⅰ オープンエデュケーション論合同演習 課題研究			情報リテラシー 教育情報学基礎論概論 教育情報学基礎論特論Ⅰ 教育情報学基礎論研究演習Ⅰ オープンエデュケーション論合同演習 課題研究
専	教授	熊井 正之 (48) <平成30年4月>	専	教授	熊井 正之 (49) <平成30年4月>
		情報リテラシー 教育情報アセスメント基礎論 教育情報学基礎論概論 教育情報学基礎論特論Ⅱ 教育情報学基礎論研究演習Ⅱ オープンエデュケーション論合同演習 課題研究			情報リテラシー 教育情報学基礎論概論 教育情報学基礎論特論Ⅱ 教育情報学基礎論研究演習Ⅱ オープンエデュケーション論合同演習 課題研究
専	教授	小嶋 秀樹 (51) <平成30年4月>	専	教授	小嶋 秀樹 (52) <平成30年4月>
		情報リテラシー 教育情報アセスメント基礎論 教育情報学実践論概論 教育情報学実践論特論Ⅰ 教育情報学実践論研究演習Ⅰ オープンエデュケーション論合同演習 課題研究			情報リテラシー 教育情報学実践論概論 教育情報学実践論特論Ⅰ 教育情報学実践論研究演習Ⅰ オープンエデュケーション論合同演習 課題研究
専	教授	柴山 直 (58) <平成30年4月>	専	教授	柴山 直 (59) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 教育情報アセスメント基礎論 教育測定学概論 教育アセスメント研究演習Ⅲ 教育測定学特論Ⅰ 教育測定学研究演習Ⅰ 課題研究			エデュフェア・マインド 教育測定学概論 教育アセスメント研究演習Ⅲ 教育測定学特論Ⅰ 教育測定学研究演習Ⅰ 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	有本 昌弘 (57) <平成30年4月>	専	教授	有本 昌弘 (58) <平成30年4月>
		教育情報アセスメント基礎論 教育アセスメント概論 教育アセスメント特論Ⅰ 教育アセスメント研究演習Ⅰ 課題研究			教育情報アセスメント基礎論 教育アセスメント概論 教育アセスメント特論Ⅰ 教育アセスメント研究演習Ⅰ 課題研究
専	教授	末松 和子 (51) <平成30年4月>	専	教授	末松 和子 (52) <平成30年4月>
		多文化教育論概論 多文化教育論研究演習Ⅰ グローバル共生教育論合同演習Ⅰ グローバル共生教育論合同演習Ⅱ 課題研究			多文化教育論概論 多文化教育論特論 多文化教育論研究演習Ⅰ 多文化教育論研究演習Ⅱ グローバル共生教育論合同演習Ⅰ グローバル共生教育論合同演習Ⅱ 課題研究
専	教授	倉元 直樹 (55) <平成30年4月>	専	教授	倉元 直樹 (56) <平成30年4月>
		教育情報アセスメント基礎論 教育情報学応用論概論 教育情報学応用論特論Ⅰ 教育情報学応用論研究演習Ⅰ オープンエデュケーション論合同演習 課題研究			教育情報学応用論概論 教育情報学応用論特論Ⅰ 教育情報学応用論研究演習Ⅰ 課題研究
専	准教授	池尾 恭一 (60) <平成30年4月>	専	准教授	池尾 恭一 (61) <平成30年4月>
		生涯教育科学基礎論 人間形成史特論Ⅱ 人間形成史研究演習Ⅱ 人間形成学合同演習Ⅰ 人間形成学合同演習Ⅱ 課題研究			エデュフェア・マインド 人間形成史特論Ⅱ 人間形成史研究演習Ⅱ 人間形成学合同演習Ⅰ 人間形成学合同演習Ⅱ 課題研究
専	准教授	市毛 哲夫 (62) <平成30年4月>	専	准教授	市毛 哲夫 (63) <平成30年4月>
		生涯教育科学基礎論 スポーツ文化論特論Ⅱ スポーツ文化論研究演習Ⅱ 生涯学習論合同演習Ⅰ 生涯学習論合同演習Ⅱ 課題研究			スポーツ文化論特論Ⅱ スポーツ文化論研究演習Ⅱ 生涯学習論合同演習Ⅰ 生涯学習論合同演習Ⅱ 課題研究
専	准教授	谷口 和也 (50) <平成30年4月>	専	准教授	谷口 和也 (51) <平成30年4月>
		学校教育論特論 学校教育論研究演習Ⅱ グローバル共生教育論合同演習Ⅰ グローバル共生教育論合同演習Ⅱ 国際教育共同実習 課題研究			学校教育論概論 学校教育論特論 学校教育論研究演習Ⅰ 学校教育論研究演習Ⅱ グローバル共生教育論合同演習Ⅰ グローバル共生教育論合同演習Ⅱ 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	石井山 竜平 (47) <平成30年4月>	専	准教授	石井山 竜平 (48) <平成30年4月>
		生涯教育科学基礎論 社会教育学概論 社会教育学特論 社会教育学研究演習 I 社会教育学研究演習 II 生涯学習論合同演習 I 生涯学習論合同演習 II 課題研究			生涯教育科学基礎論 社会教育学概論 社会教育学特論 社会教育学研究演習 I 社会教育学研究演習 II 生涯学習論合同演習 I 生涯学習論合同演習 II 課題研究
専	准教授	李 仁子 (51) <平成30年4月>	専	准教授	李 仁子 (52) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 生涯教育科学基礎論 人間形成論特論II 人間形成論研究演習 II 人間形成学合同演習 I 人間形成学合同演習 II 人間形成論実習 課題研究			エデュフェア・マインド 人間形成論特論II 人間形成論研究演習 II 人間形成学合同演習 I 人間形成学合同演習 II 人間形成論実習 課題研究
専	准教授	青木 栄一 (43) <平成30年4月>	専	准教授	青木 栄一 (44) <平成30年4月>
		教育政策科学概論 教育行政学特論I 教育行政学研究演習 I 教育政策科学合同演習 I 教育政策科学合同演習 II 課題研究			教育政策科学概論 教育行政学特論I 教育行政学研究演習 I 教育政策科学合同演習 I 教育政策科学合同演習 II 課題研究
専	准教授	後藤 武俊 (41) <平成30年4月>	専	准教授	後藤 武俊 (42) <平成30年4月>
		教育政策科学概論 教育行政学特論II 教育行政学研究演習 II 教育政策科学合同演習 I 教育政策科学合同演習 II 課題研究			エデュフェア・マインド 教育政策科学概論 教育行政学特論II 教育行政学研究演習 II 教育政策科学合同演習 I 教育政策科学合同演習 II 課題研究
専	准教授	井本 佳宏 (39) <平成30年4月>	専	准教授	井本 佳宏 (40) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 教育政策科学概論 比較教育学特論II 比較教育学研究演習 II 教育政策科学合同演習 I 教育政策科学合同演習 II 課題研究			エデュフェア・マインド 教育政策科学概論 比較教育学特論II 比較教育学研究演習 II 教育政策科学合同演習 I 教育政策科学合同演習 II 課題研究
専	准教授	島 一則 (46) <平成30年4月>	専	准教授	島 一則 (47) <平成30年4月>
		教育政策科学概論 教育社会学特論II 教育社会学研究演習 II 教育政策科学合同演習 I 教育政策科学合同演習 II 課題研究			教育政策科学概論 教育社会学特論II 教育社会学研究演習 II 教育政策科学合同演習 I 教育政策科学合同演習 II 課題研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	深谷 優子 (45) <平成30年4月>	専	准教授	深谷 優子 (46) <平成30年4月>
		教育心理学概論 教育心理学特論Ⅱ 教育心理学研究演習Ⅰ 教育心理学研究演習Ⅱ 学習心理学特論Ⅱ 学習心理学研究演習Ⅱ 課題研究			教育心理学概論 教育心理学特論Ⅱ 教育心理学研究演習Ⅰ 教育心理学研究演習Ⅱ 学習心理学特論Ⅱ 学習心理学研究演習Ⅱ 課題研究
専	准教授	神谷 哲司 (46) <平成30年4月>	専	准教授	神谷 哲司 (47) <平成30年4月>
		発達心理学特論 発達心理学研究演習Ⅰ 発達心理学研究演習Ⅱ 発達心理学研究演習Ⅲ 発達心理学研究演習Ⅳ 発達臨床論研究演習Ⅱ 課題研究			発達心理学特論 発達心理学研究演習Ⅰ 発達心理学研究演習Ⅱ 発達心理学研究演習Ⅲ 発達心理学研究演習Ⅳ 発達臨床論研究演習Ⅱ 課題研究
専	准教授	川崎 聡大 (46) <平成30年4月>	専	准教授	川崎 聡大 (47) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 発達障害学特論Ⅱ 発達障害学研究演習Ⅱ 発達障害学研究演習Ⅳ 福祉分野に関する理論と支援の展開 課題研究			エデュフェア・マインド 発達障害学概論 発達障害学特論Ⅱ 発達障害学研究演習Ⅱ 発達障害学研究演習Ⅳ 課題研究
専	准教授	安保 英勇 (52) <平成30年4月>	専	准教授	安保 英勇 (53) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理研究法特論Ⅰ 臨床心理研究法特論Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅰ 臨床心理基礎実習 心理的アセスメントに関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践 心理実践演習Ⅰ 心理実践演習Ⅱ 課題研究			エデュフェア・マインド 臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践) 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理研究法特論Ⅰ 臨床心理研究法特論Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践) 臨床心理基礎実習 臨床心理実習Ⅲ(心理実践実習Ⅱ) 課題研究
専	准教授	若島 孔文 (45) <平成30年4月>	専	准教授	若島 孔文 (46) <平成30年4月>
		臨床心理学基礎論 臨床心理面接特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理研究法特論Ⅰ 臨床心理研究法特論Ⅱ 家族心理学特論 臨床心理実習 家族関係・集団・地域社会における心理療法等に関する理論と実践 心理実践演習Ⅰ 心理実践演習Ⅱ 課題研究			臨床心理学基礎論 臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践) 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理研究法特論Ⅰ 臨床心理研究法特論Ⅱ 家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理療法等に関する理論と実践) 臨床心理実習Ⅲ(心理実践実習Ⅱ) 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	吉田 沙蘭 (32) <平成30年4月>	専	准教授	吉田 沙蘭 (33) <平成30年4月>
		臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理面接特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理研究法特論Ⅰ 臨床心理研究法特論Ⅱ 臨床心理実習 教育分野に関する理論と支援の展開 心理実践演習Ⅰ 心理実践演習Ⅱ 課題研究			臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践) 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理研究法特論Ⅰ 臨床心理研究法特論Ⅱ 臨床心理実習Ⅲ (心理実践実習Ⅱ) 課題研究
専	准教授	中島 平 (46) <平成30年4月>	専	准教授	中島 平 (47) <平成30年4月>
		情報リテラシー 教育情報アセスメント基礎論 教育情報学実践論概論 教育情報学実践論特論Ⅱ 教育情報学実践論研究演習Ⅱ オープンエデュケーション論合同演習 課題研究			情報リテラシー 教育情報学実践論概論 教育情報学実践論特論Ⅱ 教育情報学実践論研究演習Ⅱ オープンエデュケーション論合同演習 課題研究
専	准教授	佐藤 克美 (45) <平成30年4月>	専	准教授	佐藤 克美 (46) <平成30年4月>
		情報リテラシー 教育情報アセスメント基礎論 教育情報学基礎論概論 教育情報学基礎論特論Ⅲ 教育情報学基礎論研究演習Ⅲ オープンエデュケーション論合同演習 課題研究			情報リテラシー 教育情報学基礎論概論 教育情報学基礎論特論Ⅲ 教育情報学基礎論研究演習Ⅲ オープンエデュケーション論合同演習 課題研究
専	准教授	熊谷 龍一 (40) <平成30年4月>	専	准教授	熊谷 龍一 (41) <平成30年4月>
		教育情報アセスメント基礎論 教育測定学概論 教育測定学特論Ⅱ 教育測定学研究演習Ⅱ 課題研究			教育測定学概論 教育測定学特論Ⅱ 教育測定学研究演習Ⅱ 課題研究
専	准教授	高橋 美能 (39) <平成30年4月>	専	准教授	高橋 美能 (40) <平成30年4月>
		多文化教育論特論 多文化教育論研究演習Ⅱ グローバル共生教育論合同演習Ⅰ グローバル共生教育論合同演習Ⅱ 課題研究			多文化教育論概論 多文化教育論特論 多文化教育論研究演習Ⅰ 多文化教育論研究演習Ⅱ グローバル共生教育論合同演習Ⅰ グローバル共生教育論合同演習Ⅱ 課題研究
専	准教授	宮本 友弘 (50) <平成30年4月>	専	准教授	宮本 友弘 (51) <平成30年4月>
		教育情報アセスメント基礎論 教育情報学応用論概論 教育情報学応用論特論Ⅱ 教育情報学応用論研究演習Ⅱ オープンエデュケーション論合同演習 課題研究			教育情報学応用論概論 教育情報学応用論特論Ⅱ 教育情報学応用論研究演習Ⅱ 課題研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	渡部 由紀 (47) <平成30年4月>	専	准教授	渡部 由紀 (48) <平成30年4月> 多文化教育論概論 多文化教育論特論 多文化教育論研究演習Ⅰ 多文化教育論研究演習Ⅱ 課題研究
		課題研究			課題研究
専	准教授	松林 優一郎 (35) <平成31年4月>	専	准教授	松林 優一郎 (36) <平成31年4月> 教育アセスメント特論Ⅱ 教育アセスメント研究演習Ⅱ 課題研究
		教育アセスメント特論Ⅱ 教育アセスメント研究演習Ⅱ 課題研究			教育アセスメント特論Ⅱ 教育アセスメント研究演習Ⅱ 課題研究
専	准教授	佐藤 智子 (38) <平成30年4月>	専	准教授	佐藤 智子 (39) <平成30年4月> 教育情報学応用論特論Ⅲ 教育情報学応用論研究演習Ⅲ 課題研究
		教育情報学応用論特論Ⅲ 教育情報学応用論研究演習Ⅲ 課題研究			教育情報学応用論特論Ⅲ 教育情報学応用論研究演習Ⅲ 課題研究
専	講師	陳 思聡 (34) <平成30年4月>			
		成人教育特論 成人教育研究演習Ⅱ グローバル共生教育論合同演習Ⅰ グローバル共生教育論合同演習Ⅱ 国際教育共同実習			
専	助教	清水 禎文 (54) <平成30年4月>			
		学校教育論概論 学校教育論研究演習Ⅰ グローバル共生教育論合同演習Ⅰ グローバル共生教育論合同演習Ⅱ 国際教育共同実習			
専	助教	爲川 雄二 (46) <平成30年4月>	専	助教	爲川 雄二 (47) <平成30年4月> 情報リテラシー オープンエデュケーション論合同演習
		情報リテラシー			情報リテラシー オープンエデュケーション論合同演習
専	助教	大河 雄一 (42) <平成30年4月>	専	助教	大河 雄一 (43) <平成30年4月> 情報リテラシー オープンエデュケーション論合同演習
		情報リテラシー			情報リテラシー オープンエデュケーション論合同演習
専	助教	尹 得霞 (38) <平成30年4月>	専	助教	尹 得霞 (39) <平成30年4月> 情報リテラシー オープンエデュケーション論合同演習
		情報リテラシー			情報リテラシー オープンエデュケーション論合同演習
			専	助教	砂川 芽吹 (28) <平成30年4月> 発達障害学特論Ⅰ (福祉分野に関する理論と支援の展開) 臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践) 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理研究法特論Ⅰ 臨床心理研究法特論Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅰ) 臨床心理実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	石井 光夫 (62) <平成30年4月> 教育政策科学特論
兼任	教授	池田 忠義 (53) <平成30年4月> 投影法特論Ⅰ 投影法特論Ⅱ 心理的アセスメントに関する理論と実践
兼任	准教授	中島 正雄 (41) <平成30年4月> 基礎臨床心理学概論 心理療法特論Ⅰ 心理療法特論Ⅱ 心理支援に関する理論と実践
兼任	講師	小島 奈々恵 (37) <平成30年4月> 学校臨床心理学特論 コミュニティ心理学特論 コミュニティ心理学実践特論
兼任	講師	榊原 佐和子 (45) <平成30年4月> 産業・労働分野に関する理論と支援の展開
兼任	講師	LEIS ADRIAN PAUL (41) <平成30年4月> Practical English for Educational Sciences
兼任	講師	姜 大仲 (45) <平成30年8月> 国際教育論Ⅰ
兼任	講師	Chen Chen (45) <平成31年1月> 国際教育論Ⅱ
兼任	講師	合田 美子 (45) <平成30年9月> 教育アセスメント特論Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専任	助教	前田 駿太 (27) <平成30年4月> 臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践) 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理研究法特論Ⅰ 臨床心理研究法特論Ⅱ 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開) 臨床心理実習Ⅲ(心理実践実習Ⅱ)
兼任	教授	石井 光夫 (63) <平成30年4月> 教育政策科学特論 比較教育学研究演習Ⅰ
兼任	教授	池田 忠義 (54) <平成30年4月> 投影法特論Ⅰ 投影法特論Ⅱ
兼任	准教授	中島 正雄 (42) <平成30年4月> 臨床心理学概論 心理療法特論
兼任	講師	小島 奈々恵 (38) <平成30年4月> 学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開) コミュニティ心理学特論
兼任	講師	榊原 佐和子 (46) <平成30年4月> 産業心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)
兼任	助教	藤川 真由 (34) <平成30年4月> 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)
兼任	講師	LEIS ADRIAN PAUL (42) <平成30年4月> Practical English for Educational Sciences
兼任	講師	姜 大仲 (46) <平成30年8月> 国際教育論Ⅰ
兼任	講師	Chen Chen (46) <平成31年1月> 国際教育論Ⅱ
兼任	講師	合田 美子 (46) <平成30年9月> 教育アセスメント特論Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	山下 祐一郎 (36) <平成30年4月>	兼任	講師	山下 祐一郎 (37) <平成30年4月>
		教育情報学実践論特論Ⅲ 教育情報学実践論研究演習Ⅲ			教育情報学実践論特論Ⅲ 教育情報学実践論研究演習Ⅲ
兼任	講師	菅藤 健一 (60) <平成30年4月>	兼任	講師	菅藤 健一 (61) <平成30年4月>
		司法分野に関する理論と支援の展開			犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
			兼任	講師	窪田 由紀 (65) <平成31年1月> 心の健康教育に関する理論と実践

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・陳思聡講師就任辞退のため、高橋満教授の授業担当科目を追加
- ・教育内容の充実及び開講形式変更のため、笹田博通教授、八鍬友広教授及び甲斐健人教授の授業担当科目を追加及び削除
- ・担当教員見直しのため、宮腰英一教授の授業担当科目を削除
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応したカリキュラムを見直したため、野口和人教授の授業担当科目を名称変更、追加及び削除
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応したカリキュラム及び担当教員の見直しのため、上笠高志教授及び加藤道代教授の授業担当科目を名称変更、追加及び削除
- ・開講形式変更のため、渡部信一教授、熊井正之教授及び小嶋秀樹教授の授業担当科目を削除
- ・開講形式変更及び担当教員の見直しのため、柴山直教授の授業担当科目を削除及び追加
- ・教育内容の充実のため、末松和子教授の授業担当科目を追加
- ・開講形式変更及び担当教員見直しのため、倉元直樹教授の授業担当科目を削除
- ・教育内容の充実及び開講形式変更のため、池尾恭一准教授の授業担当科目を追加及び削除
- ・開講形式変更のため、市毛哲夫准教授の授業担当科目を削除
- ・清水禎文助教就任辞退及び担当教員見直しのため、谷口和也准教授の授業担当科目を追加及び削除
- ・開講形式変更のため、李仁子准教授の授業担当科目を削除
- ・教育内容の充実のため、後藤武俊准教授の授業担当科目を追加
- ・教育内容の充実及び公認心理師関係の授業科目について省令に対応したカリキュラム見直しのため、川崎聡大准教授の授業担当科目を追加及び削除
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応したカリキュラム及び担当教員の見直しのため、安保英勇准教授の授業担当科目を名称変更及び削除
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応したカリキュラム及び担当教員の見直しのため、若島孔文准教授及び吉田沙蘭准教授の授業担当科目を名称変更及び削除
- ・開講形式変更のため、中島平准教授、佐藤克美准教授及び熊谷龍一准教授の授業担当科目を削除
- ・教育内容の充実のため、高橋美能准教授の授業担当科目を追加
- ・開講形式変更及び担当教員の見直しのため、宮本友弘准教授の授業担当科目を削除
- ・教育内容の充実のため、渡部由紀准教授の授業担当科目を追加
- ・陳思聡講師就任辞退。「グローバル共生教育論合同演習Ⅰ」「グローバル共生教育論合同演習Ⅱ」「国際教育共同実習」は他に担当教員がいるため支障なし。後任は平成31年4月1日採用予定で選考中。
- ・清水禎文助教就任辞退。後任は未定。「グローバル共生教育論合同演習Ⅰ」「グローバル共生教育論合同演習Ⅱ」「国際教育共同実習」は他に担当教員がいるため支障なし。
- ・教育内容の充実のため、為川雄二助教、大川雄一助教及び伊得露助教の授業担当科目を追加
- ・平成30年4月砂川芽吹助教及び前田駿太助教就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・担当教員見直しのため、石井光夫教授の授業担当科目を追加
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応したカリキュラムを見直したため、池田忠義教授の授業担当科目を削除
- ・授業科目名の適正化及び公認心理師関係の授業科目について省令に対応したカリキュラム見直しのため、中島正雄准教授の授業担当科目を名称変更及び削除
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応したカリキュラムを見直したため、小島奈々恵講師の授業担当科目を名称変更及び削除
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応したカリキュラム及び臨床心理士に係るカリキュラムを見直したため、榎原佐和子講師の授業担当科目を名称変更
- ・平成30年4月藤川真由助教就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・公認心理師関係の授業科目について省令に対応したカリキュラムを見直したため、菅藤健一講師の授業担当科目を名称変更
- ・平成31年1月窪田由紀講師就任。担当教員見直しのため。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
5 名	4 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
19 (18)	22 (22)	1 (0)	4 (5)	46 (45)	18	22	0	5	45	18 [Δ1]	23 [1]	0 [Δ1]	5 [1]	46 [1]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
42 (40)	4 (5)	0 (0)			40	5	0			41 [Δ1]	5 [1]	0 [0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{46}{46} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{45} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	講師	陳 思総	選択	成人教育特論	①	他大学に採用のため就任辞退（30）				
			選択	成人教育研究演習Ⅱ	①					
			選択	グローバル共生教育論合同演習Ⅰ	③					
			選択	グローバル共生教育論合同演習Ⅱ	③					
			選択	国際教育共同実習	③					
2	助教	清水 禎文	選択	学校教育論概論	①	他大学に採用のため就任辞退（30）				
			選択	学校教育論研究演習Ⅰ	①					
			選択	グローバル共生教育論合同演習Ⅰ	③					
			選択	グローバル共生教育論合同演習Ⅱ	③					
			選択	国際教育共同実習	③					
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	4	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{46} = \boxed{4.34} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

1. 次の授業科目は、他の教員が担当するため、教育上の問題は生じていない。
成人教育特論／成人教育研究演習Ⅱ／学校教育論概論／学校教育論研究演習Ⅰ／国際教育共同実習
2. 次の授業科目は、当該コースを担当する教員全員で担当する科目であるため、教育上の支障は生じていない。
グローバル共生教育論合同演習Ⅰ／グローバル共生教育論合同演習Ⅱ

「学生への周知」
 授業科目の担当教員については、シラバスに掲載し、学生が確認できるようにしている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学研究科 総合教育科学専攻 博士後期課程>

(1) -① 担当教員表

【事前伺い時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	高橋 満 (62) <平成30年4月> エデュフェア・マイ インド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ グローバル共生教育 論特別研究Ⅰ グローバル共生教育 論特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	専	教授	高橋 満 (63) <平成30年4月> エデュフェア・マイ インド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ グローバル共生教育 論特別研究Ⅰ グローバル共生教育 論特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	笹田 博通 (62) <平成30年4月> 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研 究Ⅰ 生涯教育科学特別研 究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	専	教授	笹田 博通 (63) <平成30年4月> エデュフェア・マイ インド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研 究Ⅰ 生涯教育科学特別研 究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	八鍬 友広 (56) <平成30年4月> 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 院生プロジェクト研 究 生涯教育科学特別研 究Ⅰ 生涯教育科学特別研 究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	専	教授	八鍬 友広 (57) <平成30年4月> エデュフェア・マイ インド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 院生プロジェクト研 究 生涯教育科学特別研 究Ⅰ 生涯教育科学特別研 究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	甲斐 健人 (52) <平成30年4月> 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研 究Ⅰ 生涯教育科学特別研 究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	専	教授	甲斐 健人 (53) <平成30年4月> エデュフェア・マイ インド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研 究Ⅰ 生涯教育科学特別研 究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専任	教授	宮腰 英一 (63) <平成30年4月> 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研 究Ⅰ 教育政策科学特別研 究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	専任	教授	宮腰 英一 (64) <平成30年4月> 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研 究Ⅰ 教育政策科学特別研 究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
兼任	講師	宮腰 英一 (63) <平成32年4月> 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研 究Ⅰ 教育政策科学特別研 究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	兼任	講師	宮腰 英一 (64) <平成32年4月> 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研 究Ⅰ 教育政策科学特別研 究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	教授	福田 亘孝 (53) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	本郷 一夫 (62) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	工藤 与志文 (54) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	野口 和人 (55) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	上埜 高志 (62) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	加藤 道代 (61) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	渡部 信一 (59) <平成30年4月>
		情報リテラシー 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
専	教授	福田 亘孝 (54) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	本郷 一夫 (63) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	工藤 与志文 (55) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	野口 和人 (56) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	上埜 高志 (63) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	加藤 道代 (62) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	渡部 信一 (60) <平成30年4月>
		情報リテラシー 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	熊井 正之 (48) <平成30年4月>
		情報リテラシー 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	小嶋 秀樹 (51) <平成30年4月>
		情報リテラシー 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	柴山 直 (58) <平成30年4月>
		エデュフェア・マイ インド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	有本 昌弘 (57) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	末松 和子 (51) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ グローバル共生教育論特別研究Ⅰ グローバル共生教育論特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	倉元 直樹 (55) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	池尾 恭一 (60) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	熊井 正之 (49) <平成30年4月>
		情報リテラシー 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	小嶋 秀樹 (52) <平成30年4月>
		情報リテラシー 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	柴山 直 (59) <平成30年4月>
		エデュフェア・マイ インド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	有本 昌弘 (58) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	末松 和子 (52) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ グローバル共生教育論特別研究Ⅰ グローバル共生教育論特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	倉元 直樹 (56) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	池尾 恭一 (61) <平成30年4月>
		エデュフェア・マイ インド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	市毛 哲夫 (62) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	谷口 和也 (50) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ グローバル共生教育論特別研究Ⅰ グローバル共生教育論特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	石井山 竜平 (47) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	李 仁子 (51) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	青木 栄一 (43) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	後藤 武俊 (41) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	井本 佳宏 (39) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	市毛 哲夫 (63) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	谷口 和也 (51) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ グローバル共生教育論特別研究Ⅰ グローバル共生教育論特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	石井山 竜平 (48) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	李 仁子 (52) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	青木 栄一 (44) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	後藤 武俊 (42) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	井本 佳宏 (40) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	島 一則 (46) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	深谷 優子 (45) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	神谷 哲司 (46) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	川崎 聡大 (46) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	安保 英勇 (52) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	若島 孔文 (45) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	吉田 沙蘭 (32) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	島 一則 (47) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	深谷 優子 (46) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	神谷 哲司 (47) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	川崎 聡大 (47) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	安保 英勇 (53) <平成30年4月>
		エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	若島 孔文 (46) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	吉田 沙蘭 (33) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	中島 平 (46) <平成30年4月>	専	准教授	中島 平 (47) <平成30年4月>
		情報リテラシー 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅰ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			情報リテラシー 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅰ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	佐藤 克美 (45) <平成30年4月>	専	准教授	佐藤 克美 (46) <平成30年4月>
		情報リテラシー 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅰ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			情報リテラシー 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅰ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	熊谷 龍一 (40) <平成30年4月>	専	准教授	熊谷 龍一 (41) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅰ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅰ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	高橋 美能 (39) <平成30年4月>	専	准教授	高橋 美能 (40) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ グローバル共生教育 論特別研究Ⅰ グローバル共生教育 論特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ グローバル共生教育 論特別研究Ⅰ グローバル共生教育 論特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	宮本 友弘 (50) <平成30年4月>	専	准教授	宮本 友弘 (51) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅰ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅰ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	渡部 由紀 (48) <平成30年4月>	専	准教授	渡部 由紀 (48) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ グローバル共生教育 論特別研究Ⅰ グローバル共生教育 論特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	准教授	松林 優一郎 (35) <平成31年4月>	専	准教授	松林 優一郎 (36) <平成31年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅰ 教育情報アセスメン ト特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	佐藤 智子 (38) <平成30年4月>	専	准教授	佐藤 智子 (39) <平成30年4月>
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育情報アセスメント特別研究Ⅰ 教育情報アセスメント特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	講師	陳 思聡 (34) <平成30年4月>			
		グローバル共生教育 論特別研究Ⅰ グローバル共生教育 論特別研究Ⅱ			
専	助教	清水 禎文 (54) <平成30年4月>			
		グローバル共生教育 論特別研究Ⅰ グローバル共生教育 論特別研究Ⅱ			
専	助教	内藤 隆史 (58) <平成30年4月>	専	助教	内藤 隆史 (58) <平成30年4月>
専	助教	院生プロジェクト研究	専	助教	院生プロジェクト研究
専	助教	爲川 雄二 (46) <平成30年4月>	専	助教	爲川 雄二 (47) <平成30年4月>
		情報リテラシー			情報リテラシー
専	助教	大河 雄一 (42) <平成30年4月>	専	助教	大河 雄一 (43) <平成30年4月>
		情報リテラシー			情報リテラシー
専	助教	尹 得霞 (38) <平成30年4月>	専	助教	尹 得霞 (39) <平成30年4月>
		情報リテラシー			情報リテラシー
専	助教	南 紅玉 (39) <平成30年4月>	専	助教	南 紅玉 (39) <平成30年4月>
		院生プロジェクト研究			院生プロジェクト研究
兼任	講師	姜 大仲 (46) <平成30年8月>	兼任	講師	姜 大仲 (46) <平成30年8月>
		国際教育論Ⅰ			国際教育論Ⅰ
兼任	講師	Chen Chen (46) <平成31年1月>	兼任	講師	Chen Chen (46) <平成31年1月>
		国際教育論Ⅱ			国際教育論Ⅱ

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当教員見直しのため、笹田博通教授、八鍬友広教授、甲斐健人教授、池尾恭一准教授、後藤武俊准教授、渡部由紀准教授、松林雄一郎准教授及びひ佐藤智子准教授の授業担当科目を追加
- ・陳思聡講師就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。後任は平成31年4月1日採用予定で選考中。
- ・清水禎文助教就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。後任補充は未定。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
19	22	1	6	48	18	22	0	5	45	17	23	0	5	45
(17)	(22)	(0)	(5)	(44)						[Δ2]	[1]	[0]	[Δ1]	[Δ3]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
42	6	0			40	5	0			40	5	0		
(39)	(5)	(0)								[Δ2]	[Δ1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、
完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{45}{48} = \boxed{93.75} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{45} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	講師	陳 思総	選択	グローバル共生教育論特別研究Ⅰ	③	他大学に採用のため就任辞退（30）	
			選択	グローバル共生教育論特別研究Ⅱ	③		
2	助教	清水 禎文	選択	グローバル共生教育論特別研究Ⅰ	③	他大学に採用のため就任辞退（30）	
			選択	グローバル共生教育論特別研究Ⅱ	③		
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{48} = \boxed{4.16} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				
合計				後任補充状況の集計		
定年により退職した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
 次の授業科目は、当該コースを担当する教員全員で担当する科目であるため、教育上の支障は生じていない。
 グローバル共生教育論特別研究Ⅰ／グローバル共生教育論特別研究Ⅱ

「学生への周知」
 授業科目の担当教員については、シラバスに掲載し、学生が確認できるようにしている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<教育学研究科 総合教育科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

運営会議、ハラスメント防止対策委員会
公正な研究活動推進委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<運営会議>

平成30年度は、毎週火曜日を定例開催としている。

参加者は研究科長（委員長）、副研究科長、評議員、研究科長指名教授（2名）及び事務長で、各係長が陪席している。

<ハラスメント防止対策委員会>

平成30年度は不定期開催を予定している。

参加者は研究科長（委員長）、副研究科長、教務委員会副委員長、研究科長指名教員（2名）及び事務長

<公正な研究活動推進委員会>

平成30年度は、年間3～4回の開催を予定している。

参加者は副研究科長（委員長）、委員長指名教員（3名）、相談窓口担当者

c 委員会の審議事項等

<運営会議>

研究科及び学部組織及び運営に関すること、中期目標・中期計画に関すること、概算要求に関すること、FDに関すること等

<ハラスメント防止対策委員会>

ハラスメント防止対策の企画立案に関すること、部局相談窓口の運営に関すること等

<公正な研究活動推進委員会>

研究倫理教育及び研修の実施に関すること、研究倫理に関する相談及び助言に関する事項、研究データの保存及び管理に関する事項等

② 実施状況

a 実施内容

平成30年度は、ハラスメント防止対策委員会の企画による「ハラスメント防止に関するFD」、公正な研究活動推進委員会の企画による「研究倫理に関するFD」を実施する予定である。また、新任教員に対するFDについては、全学実施の「東北大学新任教員研修」に参画させ、実施している。SDについては、運営会議の企画により、東北大学インターネットスクール(ISTU)を利用した「研究費不正使用防止に関するコンプライアンス教育」（コンプライアンス推進課所掌）の受講を義務づけ、実施している。

b 実施方法

講義形式（講師は学内の教員を予定）で実施。また、ISTUIに趣旨に合致する受講可能な科目があれば積極的に活用したい。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

講義形式による研究倫理に関するFD、ハラスメント防止に関するFDはそれぞれ、年1回を予定。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大学で定める研究倫理教育実施指針において、教員に対しては「学生指導とコーチング」が特に重点を置くものとして位置づけられていることから、研究科内に設置されている「公正な研究活動推進委員会」と連携のうえ、FDの結果を授業内容へ反映できるよう、方策を検討していきたい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての開講科目で実施。当該年度最終の講義時にアンケートを配布し、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートによる評価結果は各教員にフィードバックし、次年度の授業内容の改善に生かしている。また、評価結果を研究科のホームページ上で公表することを検討している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

総合教育科学専攻については、平成30年4月に設置され、設置の趣旨・目的の達成に向けて設置計画に沿って取り組んでいるところである。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検・評価等については、東北大学が毎年度実施している部局評価にあわせて、当研究科独自の自己点検評価（評価委員会所掌）においても実施する予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成31年度中に公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し公表する予定。

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （平成30年 8月 1日）

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。